

総合科学技術会議
科学・技術外交戦略タスクフォース
報告書の概要

平成22年 3 月

戦略策定の背景

少子・高齢化、新興国の台頭等の中、日本が知恵で生きていくためには、科学・技術分野における国際関係を戦略的に展開し、活用することが必要。

成長戦略が策定され、第4期科学技術基本計画が検討される時期に、2020年を目指して政府を挙げて取り組むべき課題と対策を国際戦略としてまとめる。

2020年に向けた長期的展望 ~ 4つのキーワード ~

1. 少子・高齢化による日本のプレゼンス低下

少子・高齢化の進展により、若年層の人口は2020年までに3/4に
世界の研究開発投資に占める日本のシェアも低下する見通し

2. 新興国の台頭成長センターとの関係構築

アジア諸国は、今後著しい成長が期待できる有望な成長センター。エネルギー・環境問題、水・食料問題等、日本の技術力が
地域の問題解決に貢献
新興国の台頭により、従来からの「途上国協力 = 技術移転」だけではない協力姿勢が必要

3. 安全保障関連研究開発

防衛関連の国際共同開発が活発になる中、我が国の国防関連研究開発投資は、諸外国に比べて低い水準
防衛関係技術と民生技術の境界が曖昧になると同時に、テロ対策やサイバー・セキュリティ等国民生活の安全・安心の確保の上でも重要に

4. 大規模研究開発施設の国際共同整備

最先端の大規模研究施設の整備コストが増大し、国際共同整備の動きが加速
近隣国との科学・技術協力のツールとして活用する動きあり

科学・技術国際戦略

3つの基本方針

- 海外の優れた研究資源を取り込むことにより、日本の研究開発システムを強化する。
- 科学・技術の成果を、日本の国益の実現のために、広く海外で活用するとともに、「東アジア共同体構想」について、科学・技術分野が先駆的に取り組む。
- 科学・技術分野における国際協力を戦略的に推進するため、政府の体制を強化する。

5つの課題と対策

1. 世界の活力と一体となった研究開発システムの構築

研究資源の行き来を自由化し、海外の優秀な研究資源を取り込むと同時に、海外の研究機関等と相互互恵的な関係を築くことで、世界一を狙う研究ネットワークを構築

多国間の国際協力の枠組みの構築
グローバルな人材ネットワークの構築
研究・生活環境の改善
知財保護・情報管理
世界の活力と一体となったプロジェクトへの支援

2. アジア共通の課題の解決に資する研究開発の推進

日本の研究開発ミッションを「アジア共通の課題解決」へ拡大することで、日本の科学・技術力を使ってアジア共通の問題を解決し、アジア全体のイノベーションを促進

パイロット・プロジェクトの実施
- グリーン・イノベーション
- ライフ・イノベーション
- 安全・安心
基礎・基盤研究の推進
大規模研究施設整備に関するアジア・ロードマップの策定

3. 研究協力に止まらないイノベーション協力への発展

国際標準化や制度構築、人材育成等と連携して、イノベーションプロセス全体を対象とした協力を行うことにより、イノベーションの飛躍的な加速を実現

ODAと連携した研究協力の強化
国際標準化の推進
基準認証分野におけるアジアとの連携・協力
制度整備・人材育成と連携した協力の強化

4. 科学・技術外交の新次元の開拓

科学・技術外交の対象を、広く捉え、多様な主体との連携し、成果を経済・社会面での国益の実現に繋げ、広く社会に還元

民間における科学・技術外交
科学・技術外交を担う人材の育成
産業・科学・技術・外交の連携強化
日本の強みを生かす
国際展開支援
国際機関との連携

5. 国際戦略を実行する政府体制強化

国際戦略を、政府を挙げて実行するため、各府省が連携して実施すべき施策を立案・推進する機能を強化

府省間連携の強化
海外拠点のあり方

今後の展開

第4期科学技術基本計画の策定に向けた議論に反映
科学・技術関係府省と外務省との連携を強化

科学・技術重要施策アクション・プランへ反映

グリーン・イノベーション
ライフ・イノベーションを
加速する2つのプロジェクト

アジア・サイエンス・テクノロジー・エリア構想

アジア・サイエンス・テクノロジー・エリア

アジア諸国の優秀な頭脳を日本に取り込むとともに、
日本の研究機関・研究資金も積極的に海外展開を図り、
アジアの活力と一体となって研究開発力を強化

日本の研究開発力強化と
グリーン・イノベーション
ライフ・イノベーションの
アジア全体での促進を
同時に実現

環境・エネルギー、食料、健康、安全・安心など
アジアが共通して抱える課題を、
日本の科学・技術の蓄積を活用して解決

アフリカ・グリーン/ライフ・イノベーション・イニシアチブ



研究協力

専門家派遣

- ◆ 日本のODAの成果を活用して、グリーン・イノベーション/ライフ・イノベーションに関する協力を促進
- ◆ 元日本留学生等の人材のネットワーク化を促進
- ◆ 国際機関とも連携して、国際社会にアピール